

第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会会議録

令和6年7月4日（木）13時30分～

委員長 皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、また本当にお暑い中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

開会に先立ちまして、傍聴の皆様をお願いがございます。お手元の傍聴要領をご覧ください。会議の傍聴要領に従い、傍聴いただきますようお願いいたします。なお、この会議は公開であるとともに、審議の内容につきましては、会議録作成上の都合、録音させていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、会議の開催に当たりまして、藤沢市教育委員会傍聴規則第6条第4項にあります写真撮影につきまして、報道機関から事前に申請がありましたので、これを許可することといたします。

本日の次第をご覧ください。今回、ご審議いただく内容は、議案「令和7年度使用中学校用教科用図書について」です。

まず初めに、藤沢市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議録署名委員を指名いたします。

委員長の私のほかに、今回も佐々木委員をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

佐々木委員 結構です。

委員長 ありがとうございます。では、佐々木委員、よろしくお願いいたします。

続きまして、本日の資料につきまして事務局からの説明を求めます。事務局、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、議題に係る資料について説明いたします。

第1回の審議委員会が終了した後、本日までの間に送付し、本日お持ちいただきました4点の資料についてご説明いたします。

1点目は、本審議委員会の下に置かれました調査員によって作成されました「中学校用（令和7・8・9・10年度用）『調査資料』」です。これは、県の通知及び本審議委員会の方針を受けまして、学校教育に関し十分な経験と知識を有する者のうちから本市教育委員会が調査員として54名を任命し、調査研究した結果をまとめたものでございます。今回、調査研究に携わりました調査員の氏名等につきましては、調査資料の最終ページに記載してございます。

2点目は、県より報告されました「中学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程 教科用図書調査研究の結果（令和7・8・9・10年度使用）」です。これは、県の選定審議会の下に置かれた専門調査委員会が調査研究した結果でありまして、選定審議会を経まして県教育委員会から本市教育委員会へと送付されたものでございます。

3点目は、「令和7年度使用中学校用教科用図書調査書まとめ」です。これは、各中学校長が自校の教師に県の調査研究の観点等に沿って調査研究させた令和7年度使用中学校用教科用図書調査書を基に事務局でまとめたものです。各学校が調査の各観点に沿って、当てはまると思われる発行者に丸をつけたものを集計し、一覧にしたものと、各教科、種目別の観点及び本市の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点について、その教科書が適切である理由として各学校が記述した内容を発行者ごとにまとめ、一覧にしたものです。

4点目は、「令和7年度使用教科用図書意見書一覧表」です。これは、市民及び保護者向けに各中学校及び藤沢市役所本庁舎4階会議室において、教科書見本展示会を開催した際にいただいた意見、感想を事務局でまとめたものでございます。

その他、キャスターにある資料についてですが、小・中・特別支援学校の学習指導要領、教科書発行者が文部科学省から指示され作成した教科書編修主意書、令和7年度使用中学校用教科用図書見本本及び特別支援教育関係教科用図書見本本を用意しております。なお、令和7年度使用中学校用教科用図書調査書まとめと令和7年度使用教科用図書意見書一覧表等についてもキャスターに用意してあります。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。

ただいまの説明について何かご質問等ございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、質問がないようですので、これから議事に入りたいと思います。

議題「令和7年度使用中学校用教科用図書について」審議してまいります。今年度は、令和7年度から令和10年度に使用する中学校の教科用図書の採択が行われることになっております。また、審議委員会が審議を行うに当たり、学校教育に関し十分な知識と経験を有する調査員を置き、調査研究を行わせました。本日までに審議委員の皆様には調査員が作成した調査資料に目を通し、調査研究を進めていただいているところですが、その調査資料の内容を基に各中学校の調査書のまとめ、また県より出されております教科用図書調査研究の結果等を使って審議を進めてまいりたいと思います。

続きまして、審議の進行につきまして何かご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

宮崎委員　　そうしましたら、今回の審議の進め方についてですけれども、各教科において、特にこちらの市の調査資料の大きなまとめである3観点を意識して進めてみてはいかがでしょうか。

委員長　　今、そういうご意見が出ましたが、よろしいでしょうか。

各委員　　異議なし。

委員長　　ありがとうございます。ただいま市の調査資料の3つの観点を基にしてというご意見がございました。市の調査資料の3つの観点といたしましては、1つ目の観点が編修の趣旨と工夫、学習指導要領との関連、内容・構成、教科・種目別の観点です。2つ目の観点は分量・装丁・表記等です。最後に3つ目の観点が本市の生徒の実態や地域等の特性との関連となります。これら3つの観点を基に、種目ごとに進めていこうと思っております。よろしく願いいたします。

では、今お話ししましたように、3つの観点を踏まえて、各委員からご意見をいただきたいと思えます。

では、まず、国語から始めさせていただきます。国語科についてご意見がある方はお願いいたします。

梶委員　　それでは、国語についてお願いいたします。

国語は4者から出ています。観点1について申し上げますと、4者ともに、学習指導要領にのっとり、言葉による見方・考え方を重視し、主体的・対話的で深い学びとなる学習を進められるよう工夫がされております。

東京書籍では、話す・聞く、書く、読むことの3領域において、学習の見通しと振り返りの過程を重視し、生徒目線でその観点を示しています。扉部分の「未来への扉」では、社会や自分の課題に向き合うことを学習のゴールとして意識させ、言葉

の力で自分や社会の未来を開く生徒の主体的な学びを実現するための仕組みがあります。

三省堂では、各教科の冒頭に示した学習目標によって見通しを持ち、最後に振り返ることによって、次の学びへの意欲が得られるように構成されています。読むことの教材に設けられた「学びの道しるべ」では、学習のプロセスが簡潔に提示され、生徒の主体的な学びを促す構成になっています。

教育出版では、小中高の学びの連続性を意識した教材が配置され、読み取りから考えの形成の流れを示した手引きが単元ごとに設定されています。生徒が学習の目標を明確に持って教材の読みを深め、最後に学びを振り返り、主体的に学ぶことができる構成になっています。また、教材の末尾に学びを生かす項目が設けられ、教科横断的に国語の学びを生活に生かす工夫があります。

光村図書では、全領域において、単元の学習の見通しから振り返りまでの流れと学習のポイントを「学びのカギ」に明確に示し、主体的・対話的で深い学びを実現する紙面構成となっています。資料編「学びのカギ」一覧や、デジタル資料「学びの地図」では、各領域の3年間の力の系統を把握することもできます。また、主体的に学習に取り組む態度の育成を重視し、各単元の「振り返る」では、自分の言葉で学びを価値づける場を設ける工夫が見られます。

私からは以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見等ある方はお願いいたします。

山下委員 私からは、観点2、分量、装丁や表記、表現について申し上げます。

まず、三省堂ですが、巻末の100ページに及ぶ資料編が読

書、社会生活、参考資料の3点に分けて掲載され、幅広い国語に関する知識を身につけられると考えます。また、挿絵や写真がほどよいサイズと配色で大変見やすく、生徒が視覚的に資料の内容を理解しやすいと思われれます。

もう一つ、観点2で挙げたいのが、光村図書です。光村図書の図表はあまり彩色、色合いに頼ることなく、優しい色合いや濃淡、また形や線の種類で識別しやすく工夫されております。視覚特性への配慮があるのが特徴です。また、巻末の資料編には、古典や日本文学等が分かりやすい図版の資料とともに掲載されており、生徒の豊かな言語感覚を養い、表現力を高めるための優れた作品に3年間で多く触れることができると考えております。

委員長 ありがとうございます。

では、藤内委員、お願いします。

藤内委員 私も豊かな言語感覚や表現力を養うという点で、光村図書を挙げたいと思います。

光村図書では、巻末資料にとじ込まれた「語彙ブック」を活用し、各学年の「語彙を豊かに」の教材において、3年間で系統的に言語感覚を高め、語彙を増やすことができます。さらに、各学年それぞれ2か所、各3ページにわたって「読書案内」が掲載され、多種多様な作品に触れることで、生徒の読書への関心を広げ、生涯にわたる読書生活の基盤となるのではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見はございますでしょうか。

岡村委員 私は、4者の中で三省堂さんの「現代の国語」ですが、本文

は絵や文字のバランスがよくて、とても見やすく、読みやすい
と思いました。後半の資料編には、著作権の引用や話合いの形
式を選ぶなど、将来にもつながることが掲載されていたり、「辞
典を活用する」や「手紙・はがき・メールの書き方」など掲載
されていて、本文以外にも、こういうこともしっかり載ってい
て、いろいろ学べると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございました。そのほかご意見がある方はいらっ
しゃいますか。

平林委員 私からは、観点3についてお話ししたいと思います。

本市の生徒には、根拠を明確にしながら自分の考えを話した
り、説得力のある文章を書いたりする表現力を身につけてほし
いと考えます。その点から、三省堂では、グループディスカッ
ションやプレゼンテーション、相手を意識して書く手紙・メー
ルや投稿文などの言語活動が充実しており、本市の生徒が社会
に生きる力を育むことができると思いました。

また、同様の観点から、光村図書では、SDGsと関連した
教材において得た知識を活用し、情報活用能力を高める情報整
理のレッスンを特設しています。さらに、話す・聞く領域に合
意形成に向けて話し合う、各領域に多角的に分析して批評文を
書くなどの言語活動が設定されており、他者と協働して課題解
決に向かうための思考力や判断力を高める工夫があると感じま
した。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。ま
た、全体を通して何か付け加えとかご意見のある方がいらっ
しゃればお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、次の書写に移りたいと思います。書写についてご意見がある方は挙手をお願いします。

澤野委員 書写の教科書は4者ございました。私からは、観点1について申し上げます。

まず、学習指導要領との関連において、4者とも書写での毛筆学習を日常の硬筆へと生かし、文字を書く力が身につくよう工夫された編集内容となっております。

具体的に申し上げますと、特に光村図書は、行書学習の初めに、苦手意識を持たせないよう、キャラクターを活用し、「行書スイッチ」のページをイラストと動画で示し、書体の特徴を確認しながら、生徒が分かりやすく、書字練習に取り組めるよう工夫しています。また、「日常に役立つ書式」では、学校生活や日常生活を多く題材に取り入れることで、総合的な学習の時間等の教科横断的な学びを実現する可能性も高く、より生徒が主体的に取り組み、学びを深める工夫があったと感じました。

三省堂は、資料編に「日常の書式」として、職場体験を題材に設定するなどしています。また、「書写の広場」では、文字の歴史や文化に触れ、手書きの味わいが感じられるように工夫されています。

東京書籍は、生徒目線で手書きの文字の意義を感じられるよう、「文字を『書く』って、なんだろう」のページを巻頭に設け、生徒の文字を書くことへの意欲を高める工夫が感じられました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見のある方はお願いいた

します。

越委員 私からは、観点3についてお話しさせていただきます。

光村図書と教育出版は、教科書を開くと、少し違った視点から入ります。例えばポスターづくりやマップづくり、文字の歴史に触れ、またフォントや手書きのよさに漫画で触れるなどして、スマホやタブレットの普及により文字を書くことが少なくなった今の生徒たちには、大切な内容が詰まっていると思いました。

三省堂と東京書籍は、文字を書くときの姿勢と構え方から入り、字形の整え方、筆遣い、文字の大きさと配列などがシンプルに分かりやすく説明されていて、大変よかったですと思いました。日常の書式として、はがきや封筒の書き方、送付状、のし袋、願書、原稿用紙の書き方の説明もあり、日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫と配慮がされていると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

梶委員 私からは、観点2における構成と装丁について申し上げます。

4者とも、3年間の書写学習が1冊の教科書にまとまっていますが、光村図書は別冊の「書写ブック」がとじ込まれており、生徒が教科書で文字の書き方を確認しながら硬筆の練習ができるという作りになっていました。

また、教育出版は、正方形に近いA B判サイズとなっており、生徒が机の上で開きやすく、毛筆のお手本として半紙に対する文字の大きさや太さをイメージしやすくなっています。また、硬筆の書字の際にも書き込みやすくなるという工夫を感じまし

た。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

小澤委員 私からは、観点3について述べさせていただきます。

4者とも紙面に二次元コードが掲載されておりまして、毛筆の課題1つにつき1分程度の動画で、生徒を視覚的に支援する工夫がありました。それから、これは本市生徒の1人1台端末、クロームブックを活用した個別最適な学びの実現を可能としているんじゃないかと思いました。

特に光村図書は、各動画に解説のアナウンスがあって、さらに、上部だけでなく斜め左の角度から動画を撮影して、筆圧の強弱、運筆、筆の運びですね。細かいところも見てとれるようになっていました。光村図書はデジタル参考資料の豊富で、開いてみると、手書きとデジタル機器のそれぞれのよさや字を書く楽しさが感じられる工夫があったと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見等あればお願いいたします。付け加え等もよろしいですか。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、続いて、地理に移りたいと思います。地理についてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

宮崎委員 私からは、観点1について、地理的分野の観点から、日本文教出版、東京書籍、帝国書院の3者について発言させていただ

きます。

まず、日本文教出版ですけれども、各節の末に「まとめ」と「ふり返り」がありまして、さらに、フィッシュボーンですとか座標軸などの様々なシンキングツール、いわゆる思考を深めるツールを使って、学習内容について生徒が多面的に、多角的に考察する工夫がなされていると思いました。

また、東京書籍ですけれども、「みんなでチャレンジ」のコーナーで、まず、自分の考えを持つところから始めて、その後に、発展的に小グループで話し合う活動を促していて、対話的な活動を通じて、ほかの人の考えを知り、様々な事象を多面的に、多角的に考察できるように配慮されていると思いました。また、東京書籍の冒頭に、見開きに世界の国々の食べ物がカラー写真で紹介されています。身近な食べ物と外国とのつながりを生徒に意識づけさせて、楽しみながら学ぶきっかけとなるのではないかと思います。

続きまして、帝国書院ですけれども、「○節の問い」という形で、各ページに必ずそれが記されております。常に学習の目標を意識することができるようになってきていると思います。同様に、節の末尾に、学習のまとめとしても、同じように「○節の問い」がありまして、章の学習を貫いて学習課題に取り組み、学びを深め、多面的、多角的に考察したり、表現する工夫があると思いました。「未来に向けて」のコーナーもまた、様々な現代的な課題を未来志向で考える工夫がされていて、生徒が社会科を学ぶ意義というものをしっかりと捉えることができると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

澤野委員 私は、構成や装丁の観点で印象に残った教育出版、それから

帝国書院の教科書についてお話しさせていただきます。

教育出版では、カリキュラムマネジメントが意識されており、小学校との学習のつながりや社会科の他の分野、歴史や公民といった分野との関連が分かりやすく記載されていて、多面的に見たり、考えたりすることができる構成になっています。ページの色の配色は、淡い色を多く使っていて、目に優しいと感じる一方で、全体的に文字数が多いかなというふうにも感じました。

帝国書院の巻頭の「教科書を活用した学び方」は、分かりやすく項立てしているほかに、マークや絵を用いた枠の中に説明文が書いてあります。マークや絵を手がかりに、生徒がどのように学びを進め、どのような視点で考察すればよいのかが分かりやすく示されています。また、二次元コードを読み取ることにより、学習内容とリンクした見通しスライド、「図解アニメーション」や「学習を振り返ろう」、「アクティブ地理」などのワークシートを活用することができます。学習の定着を図ることや学びを深めることにつながるのではないかと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかにもございますか。

窪島委員 私は、3番目の本市の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点から、各者の地理の教科書を眺めてみました。

調査員がつくってくれたこの資料にも、二次元コードについての記載がございましたけれども、本市でも生徒が1人1台パソコンを使うようになっていきますので、この二次元コードからコンテンツにつながるということは非常に有用なのではないかなというふうに思っています。

各者の教科書の中では、特に東京書籍と帝国書院の教科書について印象に残りました。

東京書籍の教科書では、単元の学習、特に予習に使える「導入クリップ」、それから学習を振り返る「チェック&トライ」、映像資料「D-MOVE」、「なるほど!スキル・アップ」などが充実しています。教科書の見開き2ページを1時間の授業の中で使おうとすると、毎時間、この二次元コードを使うことができるというような形になっていました。

それから、帝国書院の教科書ですけれども、単元の学習の冒頭で利用できる「見通しスライド」、それから単元の終わりで利用できる「ワークシートなど」といったものが用意されていました。効果的に二次元コードを使って利用する場面が絞られているのだろうなというふうに感じました。

地理の授業においては、自分たちが実際には行ったことがない世界各地を見ていかなければいけない、学ぶことが多いということになりますので、これまでも授業の中では、写真や動画を教員がスクリーンに映して見せるというようなこともしていましたけれども、子どもたちが1人1台のパソコンを授業で使っているような今日、こういったものは非常に有効なのではないかなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見、付け加え等あれば
お願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、続いて、歴史に移りたい
と思います。歴史についてご意見がある方は挙手をお願いいた
します。

佐々木委員 私は1つ目の観点について、印象に残ったところについてお

話しをさせていただきます。

まず、東京書籍についてですけれども、全ての見開きページの右側に年表が配置されています。現在、どの時代を学習しているのかが認識しやすくなっています。また、導入部に小学校で学んだ内容を用語や写真で振り返るページを設けていて、小中の学習の結びつきを意識しているなというふうに感じました。

次に、日本文教出版についてです。コラムの「先人に学ぶ」というところでは、先人がどのような課題と対面し、その解決に向けて、どのような取組をしてきたのかということを知ることができるようになっていています。道徳教育との関連を意識した工夫がされているなというふうに感じました。

次に、自由社についてです。各単元にコラムが置かれていて、歴史的事象の関連や背景に深く踏み込むことができると思いました。また、多面的、多角的に考察できるように工夫されているなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

宮崎委員 私も1つ目の観点、歴史的分野の観点から、東京書籍、教育出版、帝国書院の3者についてお話をさせていただきます。

東京書籍ですけれども、単元のまとめにおいて、くらげチャート、くま手チャートなどの思考ツールを使いまして、歴史的な事象を比較したり、相互に関連性を持たせて考えさせたりするというので、より深く多面的な視点で理解を促す工夫があると思います。また、「みんなでチャレンジ」は、話し合い活動を促し、多様な意見に触れながら、歴史的な事象を考察できるように組み立てられていると思いました。

教育出版ですけれども、巻頭に「歴史ゲームで遊ぼう」のコーナーが設けられていまして、小学校で学んだことを楽しみながら思い出して、興味を持って中学校の歴史学習に取り組めるように工夫されていると思います。また、見開き2ページの見出しが、他社の教科用図書と比べますと、特徴がありまして、例えば「楽浪の海中に倭人あり」ですとか、「クリスマスまでには帰れるさ」のように、学習内容を端的に象徴する表現になっているので、歴史的事象を生徒たちの目線で印象づけることができるよというふうに感じました。

帝国書院ですけれども、章の導入に「タイムトラベル」を設け、その時代の特色を象徴したイラストを使って、導入学習として、生徒の興味関心を引き出しやすいと思います。さらに、これらのページは、視覚的なところから実態をイメージしやすく、歴史的な見方や考え方を働かせる活動を通じて、生徒同士の対話が生まれ、もっと探究したいというような気持ちを芽生えさせたり、自らが主体的に学びに向かうという力の育成につながることを期待できると思いました。また、章末の「タイムトラベルを活用して振り返ろう。」ですけれども、その章全体を通じて様々な発見を促して、歴史的な事象を多面的に捉える活動につながると思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 私も帝国書院の「タイムトラベル」が印象に残りました。各時代の特徴をイラストの中から探す質問があったり、グループの中で対話ができるテーマがあったりと、このイラストを使って、主体的・対話的で深い学びができる題材だと思いました。今、学習している内容の時期や時代がすぐに分かる年表が各ページにも配置されているのが特徴でした。

もう1者、育鵬社についてお話しします。各章の導入部分において、小学校の振り返りをしながら、これから学ぶことをイラストを使って分かりやすく図示してある鳥の目で見ると歴史絵巻が目を引き、さらに、次のページにある「虫の目で見ると」を使い、その時代の特徴を考えることができるように工夫されていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか、窪島委員、お願いいたします。

窪島委員 これは2番目の観点になるのかな。今回の歴史の教科書では、A B判を採用している教科書がとても多い中で、そうではない判型を採用している教科書も幾つかあったんですけども、自分が注目したのは、学び舎でした。1ページ当たりA4、だからA判を採用していて、すごく資料や記述が豊富に盛り込まれているなというふうに感じました。それぞれの章の最初には、北極を中心とした世界地図が描かれていて、その時代、その時代の世界各地の様子を表す写真とか絵が配置されていて、なかなか面白い工夫だなというふうに思っています。

それから、観点1の構成にもなるのかな。帝国書院の教科書については、今、宮崎委員や繁里委員もおっしゃっていましたが、けれども、「タイムトラベル」というコーナーが章の初めに設けられていますけれども、資料となる絵がそれぞれの時代の特徴を子どもたちから眺めさせて、読み取らせることを一貫して行っていました。この絵がすごくいいんですね。生徒が絵から何を気づけるのか、気づくことができるのか、教えるほうもわくわくしてくるような作りになっています。併せて、この教科書のところどころにも見られる「世界とのつながりを考えよう」というのも、地図やイラストから日本と世界を一緒に考えるこ

とができて、とても有効であるかなというふうに考えました。
以上です。

委員長 ほかにご意見のある方、お願いいたします。

岡村委員 私は、日本文教出版の「中学社会」が目にとまりました。各ページに二次元コードがあり、一遍ごとに、最初に「どんな学習をするのかな？」というところから始まっていて、学習課題の欄では、何を学んでいくのかの学習の見通しが持たせてあったり、最後に、確認と表現欄で確認ができ、自分で振り返りをして、しっかり考えて学習できる構成になっているなと思いました。
以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方、お願いいたします。

佐々木委員 2つ目の観点についてなんですけれども、引き続きなんですけど、山川出版社の「8世紀の世界」という見開きの2ページのコーナーが章の初めに構成をされています。地図やイラストなどが掲載されているんですけども、その時代の世界の様子が視覚的に捉えることができ、学びが広がるのではないかと感じました。
以上です。

委員長 そのほかございますでしょうか。

繁里委員 ②の観点について、東京書籍、帝国書院ともに、分量、書体も適切で、各ページとも、3分の2程度がイラスト、写真で構成され、ユニバーサルの視点にも配慮されており、生徒が読み

やすく、理解しやすい構成になっていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

佐々木委員 観点の3つ目の部分について、印象に残ったところをお話し
します。

 帝国書院についてなんですけれども、現在学習している単元
が、小学校ではこの単元、また、ほかの分野ではこの単元と、
関わりがある部分がページの下に示されています。以前に学習
したことを振り返ることができたり、また、ほかの分野とも関
連して、多面的、多角的に捉える機会となるよう工夫されてい
ると感じました。

 以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いし
ます。

宮崎委員 私も、観点3の本市の生徒の実態や地域の特性等との関連と
いう点からお話をさせていただきます。

 東京書籍ですけれども、一遍聖絵ですとか後醍醐天皇の肖像
画の所蔵場所として、神奈川県藤沢市の清浄光寺と記載されて
いるところから、歴史を身近に感じることができると思います。
また、「地域の歴史を調べよう」というところは、それぞれの地
域から見た歴史を捉える学習が可能で、歴史を様々な角度から
考察する工夫があると思いました。特に、本市の生徒が3年時
に修学旅行で広島を訪れることがあるんですけれども、見開き
2ページで広島を特集してしまして、広島は原爆というような
従来の学びから一歩進めて、被爆建物をどう保存し、継承して
いくかという切り口で、これからを生きる生徒に考えさせるた

めの題材になっていると思いました。

教育出版ですけれども、やはり「福岡の市」というものに『一遍上人絵伝』清浄光寺〔遊行寺〕蔵と明記されていて、こちらにも歴史を身近に感じることができるとともに、同時代の別の資料を見て、見比べるという活動があります。資料を用いて当時の産業や経済の発展の様子を類推したり、考察したりすることの歴史的意味というものを学ぶことができるのではないかと思います。

また、令和書籍ですけれども、こちらは基本的な内容の学習にとどまらず、より高い知的な探究を手助けする構成になっているなというふうに思います。特に巻末の資料は、カラー刷りで大変見やすく、各時代ごとの歴史地図がありまして、歴史の流れを地理的な観点から理解するために大変効果的だと思いました。

最後に、帝国書院ですけれども、こちらにも一遍聖絵や後醍醐天皇の肖像画の所蔵場所として神奈川県藤沢市と記載されていて、歴史を身近に感じることができます。また、本市の生徒が鎌倉巡りですとか横浜巡り等の校外学習で訪れる機会が非常に多い鎌倉市、横浜市の特集ページがありまして、歴史的分野を学ぶことの意義というものから考えても、実際に歴史の舞台に立って考えたり、感じたりする学びを実現できると思いました。一方、中学生はまだまだ抽象的な概念形成が未熟な生徒が多いんですけれども、帝国書院の「世界とのつながりを考えよう」や「歴史を探ろう」は、先ほどの窪島委員のご発言にもあったと思いますけれども、視覚的な資料が多く用いられていて、大変具体的なイメージを持って学びを深める学習が可能かなというふうに思いました。

以上です。

委員長

ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いい

たします。付け加えも含めて何かありますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見ないようですので、続いて、公民に移りたいと思います。公民について何かご意見がある方は挙手をお願いいたします。

宮崎委員 私は、観点1について、公民に関わる視点から、各者の教科用図書を見させていただき、感じたことをお話ししたいと思います。

どの者の教科用図書も、中学校卒業後に公民として生きる生徒たちを意識して、現代社会の見方、考え方を養い、現在の予測困難な未来を生きるための思考力や判断力、表現力を育成するための配慮がなされていると思います。また、社会的事象について、生徒が多面的、多角的に考察して、意見や考えを表現できる力を育むための工夫がされています。例えば、ディベートですとかロールプレイ、シミュレーション等の活動は、ほかの人との対話を重ねていく過程で、生徒が自ら積極的に社会に参画していくという意識を育むために大変効果的であると思いました。

二次元コードについてなんですけれども、各者ともに得られる情報には大変工夫があり、多様なコンテンツにつきましては、1人1台端末を活用できる学習活動によって日々の授業をサポートすることができますし、さらに家庭における学びの広がりを期待することができます。

特に帝国書院ですけれども、「アクティブ公民」、そして「図解アニメーション」が示されていて、学習内容の定着や学びの深まりに活用できる動画などがとても分かりやすいと思いました。帝国書院の「パン屋さんをつくろう」は、出店する計画の

立案、それから出店地の選択、従業員募集など、生徒が興味関心を持って取り組むことができる内容となっていて、これは、やがて社会に出て、その形成者になるために必要な公民的な資質を体験的に学ぶことができると思いました。

以上です。

委員長 窪島委員、お願いいたします。

窪島委員 自分も、多分、これは1番目の観点でしょう。編修の趣旨と工夫、あるいは公民に関わる全体的な観点から教科書を見てみたのですけれども、3者が印象に残りました。東京書籍、帝国書院、教育出版、この3者です。

まず、東京書籍なののですけれども、「18歳へのステップ」というコーナーを設けています。18歳を意識した教科書はほかにも幾つもあるのですが、東京書籍については、特に主権者意識を高めるとか、主体的に社会に参画するといった態度を養う、これは公民にどうしても課せられた学習ということになりますけれども、非常に意識づけることができているんじゃないかなというふうに思いました。中学校3年生は義務教育最後の年ですから、このコーナーを充実させるということは、非常に好印象が持てるかなという気がします。

それから、帝国書院ですけれども、各単元の学習の冒頭に「学習の前に」という大判のイラストがありました。社会の仕組みとか制度、あるいは現実の生活を結びつけて考えたり、発見させたりしようとする、そういう意図が感じられます。公民の授業が苦手だという生徒でも、イラストから学習内容を考えることができ、意欲の喚起にもつながるものかなというふうに感じました。実際に自分も授業で使ってみたいなというふうにも思ったものです。

最後に、教育出版ですけれども、ほぼ最初のページなるのか

な、「教科書の使い方」というふうなページがあるのですが、このページは、使っている生徒たちをこの教科書に導いてくれるようなキャラクター、6人、キャラクターが描いてあるのですけれども、このキャラクターが、男子、女子はもちろんですけれども、車椅子に座っている子であるとか、あるいは名前が片仮名で書かれている子、眼鏡をかけている子とか、そういった人権を尊重しているというのでしょうか、多様性を認め合うことが求められている今の時代に、こういったキャラクターについては非常に意識がある教科書なのかなというふうに思いました。

以上になります。

委員長 ありがとうございます。そのほか、ご意見のある方。

大石委員 私は、分量・装丁・表記等に注目して見たんですけれども、どの教科書においても、1授業時間で扱う内容が見開き2ページにまとめられていました。なので、学習計画を立てやすくなるよう工夫されているというふうに感じました。

そのような中でも、特に帝国書院では、重要語句を示すゴシック体の太さですとかルビを工夫するなどの配慮がありまして、配色についても、色覚に配慮した識別しやすい色使いとなるように工夫がされています。イラストや写真なども見やすくて、興味を引くものが多く、資料も具体的で分かりやすいなというふうに思いました。

また、育鵬社においては、振り仮名にゴシック体を用いまして、読みやすくなるような工夫があります。資料やグラフについては、テーマごとに分けられているので、見やすくなっているなというふうに思います。また、章の初めに掲載されており、二次元コードを利用することによって、学習内容に関連する動画に簡単にアクセスできるように配慮されているなという

ふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方、お願いいたします。

平林委員 同じく観点2について、補足をさせていただきます。

東京書籍は、使用されているグラフや地図などの資料が色覚的にとても配慮されています。イラストなども伝えたい内容がシンプルに表現されていて、生徒が理解しやすいような工夫がされています。また、二次元コードを利用して、学習内容に関連する他の教科の教科書などが簡単に参照できるように配慮されていると感じました。

自由社は、細かいところになるかもしれませんが、索引が6ページにわたり、項目が細かく掲載されており、生徒が復習したりする際に、非常に利用しやすくなっているなど感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか何かございますでしょうか。

宮崎委員 私は、観点3の本市の生徒の実態や地域等の特性との関連というところから、印象に残った3者について申し上げます。

帝国書院ですけれども、扉の写真に江ノ電が載ってしまっていて、これは本市の生徒は素直にうれしいというふうに感じると思います。また、国際教室で学ぶ多国籍の子どもたちですとか、選択できる学校制服というような写真が大きく扱われていて、本市でも身近に接することの多い話題を丁寧に取り上げていて、多文化共生ですとか、多様性の尊重などの課題について、自分のこととして考え、社会とのつながりを意識できると思いました。

東京書籍は、全てのページに二次元コードが掲載されています。生徒が持っているクロームブックで読み取ることができるので、必要に応じて授業で活用したり、探究学習に活用することができて、より幅の広い学びが可能になるかなというふうに思いました。

最後に、SDGsについてですけれども、現在、世界的な取組となっていることから、どの者のご意見も大変工夫のある切り口で扱われていると思いました。

中でも日本文教出版は、藤沢市の片瀬海岸清掃の写真が記載されていて、より身近な課題として取り組むことができますし、生徒が実際に行動を起こすきっかけになるということも期待できると思いました。点字が施されていたりなど、バリアフリー等についても実感を持って学ぶことができる工夫がされていると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。付け加え等も含めてよろしいですか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて、地図に移りたいと思います。地図について何かご意見のある方は挙手をお願いします。

柴山委員 どちらの地図帳も、それぞれ産地や産業などのイラストがしっかり事細かく描いてあって、本当に見ていて楽しかったです。また、それぞれ有名な建物などもしっかり描かれており、普通の地図帳ではありますけれども、いろんな視点から学ぶことができるんじゃないかと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

宮崎委員 帝国書院、東京書籍の双方について、地図、そして社会科に係る観点からお話を申し上げます。

帝国書院は、主題図が大変豊富に掲載されていて、主食や気候の関わり、あるいは工業生産と人口集中なども関連させて考察することができる構成になっています。また、「世界の州」では、ページによっては、日本との結びつきについてまとめている主題図がありまして、世界と日本との関連を読み取ることができる工夫があります。また、一般図においての色の違いが、土地利用ですとか高低差をイメージしやすく、工夫されています。また、地理的分野の学習だけではなく、歴史的分野や公民的分野の学習にも利用できる資料や写真が大変豊富で、中学校3年間を通じて活用できる、そういった工夫があると思いました。特にSDGsについては、地図帳の巻頭7ページで集中して扱っています。環境ですとか脱炭素、食料、紛争など、社会科の様々な観点からの学習に活用できるようになっています。

東京書籍の地図につきましては、1つのページで大変多くの情報に触れることができまして、地図帳を開いただけで、そこからこんな事象も、こんな事象もというふうに、学びの連鎖が生まれやすいと思いました。さらに、巻末の統計資料についてですけれども、両者とも必要な情報を最新データで扱っているのですけれども、東京書籍の日本の都道府県別統計が活用しやすく、産業別人口の比率ですとか人口構成の割合がグラフ化されていて、地域の特色や課題を考察しやすいので、社会的な見方や考え方を働かせる学習においても活用できるかなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。

山下委員 私は観点2の構成や表記について申し上げたいと思います。
まず、帝国書院なんですけれども、地図から得られる情報が精選されておりまして、必要な情報を見つけやすくできているかなと思いました。また、こちらの市の調査資料のほうにも書いてありますけれども、主題図と併設した鳥瞰図がございまして、生徒の興味関心を高めるだけではなく、地理的な見方、考え方を身につけられるような工夫が見られました。また、見やすさなどから、現場の先生方からの評判もいいようです。そのように聞いております。

一方、東京書籍なんですけれども、こちらは断面図を掲載している地点がここからここまでだよというように線で示されておりまして、生徒が地理的な位置関係を理解しやすいように工夫されておりまして、また、写真資料では、新旧の比較をしながら考察する学習が進めやすい、そういう構成になっておりました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

窪島委員 私は、本市の生徒の実態や地域等の特性の関連、この3番目の観点から、藤沢市の修学旅行であるとか防災といった視点から、両者の地図を眺めてみました。防災だと、市の調査資料だと、1番目の観点にあるんですけれども、あえて自分は3番目の観点から考えてみました。

本市では、修学旅行で京都や奈良のほうに行く学校が多いほかに、平和学習で広島に行く学校もあって、そのあたりから、

この両者の地図帳を比較してみたところ、どちらの地図にしても、京都市、奈良市、そして広島市については、5万分の1の地図があって、主要な神社仏閣、そういったものについてはイラストが表示されていますし、非常に見やすいなというふうに感じました。先ほど柴山委員もおっしゃっていましたが、このイラストもなかなかいいなというふうに感じました。見やすいです。

東京書籍では、京都市の東山区が載っていましたが、帝国書院では、奈良県の明日香村とか斑鳩町辺りも載っていて、すごくかゆいところまで手が行き届いているんじゃないかなという感じがします。

帝国書院のほうでしたけれども、「地図で発見！」というコーナーがあって、修学旅行に関連して見ると、京都や奈良に加えて、大阪、兵庫、滋賀といった関西方面の主な歴史・文化・観光地が示されたページを見ながら、観光地巡りをしてみよう、そういう計画を立ててみようというふうな作りになっていました。実際、本市の修学旅行では、奈良で班別行動をしながら京都に戻るとか、あるいは、京都で班別行動で回った後、滋賀県の大津市の宿に戻るといった行動を行うことも最近多く見られていますので、修学旅行では、これは利用できるんじゃないかなというふうに思いました。

次に、防災についてですけれども、両者の地図とも、自然災害、あるいは防災に関するページがしっかりとあるほか、それぞれ地方のページにも、各所に防災に関する資料が組み込まれていました。本市は相模湾に面していて、富士山を仰ぎ見ることができるという場所にありますが、逆に、それだけ地震とか津波、火山の噴火といった災害に備えなければならないと思います。

帝国書院の地図ですけれども、日本の地震と火山の分布の資料、それから富士山の降灰の予想、南海トラフ地震の資料もあ

って、これも本市の防災教育でも利用できるのではないかなというふうに感じました。

以上になります。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、続いて数学に移りたいと思います。数学についてご意見がある方はお願いいたします。

繁里委員 私のほうからは、観点1、学習指導要領との関連という点について話したいと思います。

それぞれ7者とも、数学的活動を通して、単元ごとに主体的・対話的で深い学びについて実現できるように工夫されていると思いました。

具体的に、各者のお話をします。

東京書籍は、単元を貫く題材の設定が多く、ストーリー性のある題材構成で学ぶ意欲を高め、導入の題材を本文の中で解いたり、さらに深めたりできるような内容になっています。

大日本図書では、問題発見から解決までの流れが示されていることと、その過程を振り返ることができるような構成になっています。

学校図書は、常に話し合い活動を取り入れ、その話し合いから学習の目標を立てることで、対話的な学びが実現できるように工夫をされていました。

教育出版は、学習しながら、問いを持って学習が進められるようになっていきます。

啓林館は、全ての節の先頭にある「学習のとびら」では、そ

の節の学習を進めれば解決できる身の回りの問題を取り上げているため、学ぶ楽しさや意義を実感できるようになっていました。

数研出版は、対話形式で掲載される題材が多く、「同じように考える」、「具体的な数で考える」といった考え方を何度も示しているため、自然とその見方、考え方が身につくようになっていました。

日本文教出版は、巻末の「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」、「数学研究室」、「プログラムと数学」など、数学が活用されていることを知ることのできる構成になっていました。

ということで、7者全てが学習指導要領の学びの実現に力を入れていると感じました。

そんな中で、東京書籍は、子どもたちが学びやすいように問題を発見し、見通しを立て、解決までの過程を振り返ることができるように構成されていました。「深い学び」のページですが、このページを中心に、日常生活や社会の事象に関わる問題発見、解決の過程に沿った活動が多く、数学と生活が密接な関係であるということを学ぶことができるような構成になっていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方。

藤内委員 私は、内容と構成の工夫について、3者についてお話ししたいと思います。

まず、東京書籍です。問題発見、解決の過程を意図した「深い学び」のページ、これは先ほど繁里委員も取り上げていましたけれども、こちらのほうがほぼ全ての章に設けられていて、論理的に考察し、考えを表現する機会が多く設けられています。また、巻末の「学びのマップ」では、3年間の内容のつながり

を確認しながら、振り返りができるようになっています。さらに「学びのベース」では、問題を解いたり、フラッシュカードで反復練習ができるようになっていて、生徒が学びやすい構成になっています。

啓林館につきましては、単元末の「章のあしあと」で、分かったこと、できるようになったこと、さらに学んでみたいことをまとめる場面があって、生徒が自らの学びの深さを確認して、次の学びに進むことができるようにしています。

また、大日本図書ですけれども、章や節の導入では、問題発見、解決の流れを意識させることで、自然と論理的に考察する力と考えを表現する力が身につくようになっていきます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。ほかにご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

佐々木委員 私のほうからは、2つ目の観点であります分量と装丁、表記についてお話をしたいと思います。

どの者も二次元コードが配置されていて、予習復習や反復練習など、子どもが自分で学習できるように配慮されているなと感じました。

学校図書についてですが、適切な内容、分量の問題であり、「計算力を高めよう」では、家庭学習や計算練習で活用できるようにしています。

次に、日本文教出版についてですが、節の最後に「基本の問題」、章末には基礎から標準的な問題である「章の問題」、そして、難易度の高い「とりくんでみよう」を設けていて、多彩な問題を出題しているなと感じました。

東京書籍については、節ごとに基本の問題があったり、補充の問題では少し難しい問題も扱い、段階的に身につくように配

置されていると感じました。また、吹き出しや補助発問に「同じように考えると」とか「それなら」という文言をつけて、学びのつながりを子どもが自覚できるようにしていると思います。さらに、装丁、表記については、色使いを整えて、色覚特性に適用できるカラーユニバーサルデザインにされていますし、ルビなどの小さな文字には、見やすくするためにユニバーサルデザインフォントを使っています。

最後に、数研出版についてですが、グラフや図を描く問題について、教科書に書き込みやすくなるように、本の外側にその図を配置するという配慮がされているなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

小澤委員 私は、観点3についてお話をさせていただきます。

昨年度、もしくはそれまでの学習状況調査の結果を見ますと、数と式に関する問題の正答率に比べると、図形に関する問題の正答率が低いということで、学習状況調査は3年生ですけれども、1年生、2年生も同じなのではないかなと感じております。計算はできるんだけど、数や図形についての考察や証明について課題があるのではないかとということです。生徒同士が自分の意見を話し合う活動を通して、また、多様な考え方を認め合う場面を設定することで、物の見方、考え方を身につけることができるのではないかと思います。

私が特にとと思った3者についてお話をさせていただきます。

1つは東京書籍ですね。東京書籍は、デジタルコンテンツの中に「対話シート」というものが用意してあって、生徒一人一人が主体的に自分の考えを表したり、ペア学習、グループ学習、

それから教室全体でも意見共有がしやすいように工夫されていたなと思いました。

それから、次に、教育出版は、協働的な学びの場面として、各章の始まりに、「Let's Try」という導入問題、課題があって、さらに活用の場面のところでは、「学びのプロセス」ページというものが準備されていました。生徒の生活に身近な題材で、対話的な学びが促されるのではないかと感じました。

最後に、学校図書ですけれども、学校図書も身の回りの生活の中から課題を発見して、その発見した課題を数学の問題に置き換えて、生徒同士の話合いを行うページが設定されていました。

以上3者とも、それぞれの学習内容を通して、先ほどお話ししました学習状況調査の結果で表れている課題について改善することができるのではないかと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。付け加え等も含めてよろしいでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて理科に移りたいと思います。理科についてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

平林委員 では初めに、内容・構成、理科に係る観点について述べさせていただきます。

いずれの教科書も、全ての観点において十分に配慮がされていると感じました。特に3年間を通して、科学的に探究する力の育成が図られていること、情報活用能力の育成やICTに対応した工夫がされていること、安全に実験、観察するための注

意事項や基本操作が図入りで丁寧に説明されていること、日常生活や社会との関連等が掲載されていて、理科の有用性や自然科学への興味関心を高めるための配慮がされていること、理科の教科書としてはなくてはならない観点に対して工夫と配慮がされています。また、実感を伴った理解をしやすくするための工夫や、より深く学びたい生徒にとっての補充資料として、適切に発展的な内容が掲載されています。

そのような中で、学校図書は、生徒の真理を追究する態度を育成することに重きが置かれ、生徒が科学的に思考する、課題を科学的に解決するために必要な知識、技能が詳しく解説されています。例えば、誤差や有効数字の説明が丁寧で、生徒がデータを計算機やパソコンで計算すると多く出る小数点以下の数字を、有効数字を意識して適切に処理ができるように、丁寧に解説されています。

また、学校図書や教育出版では、学習内容を生徒に身近なもの、基礎となることから配置していて、後続の学習内容の理解がしやすくなるように配慮されています。例えば、植物の学習では、まず、植物の器官・組織の作りをしっかりと観察してから、光合成の仕組みを探究する流れとなっていて、光合成をより体の作りをイメージしながら理解ができるように配慮されています。

大日本図書では、日常生活や社会に関連する事柄を多く掲載し、生徒が科学を身近に感じることができるよう配慮されています。また、教材の生徒の身近な基礎となることから配置して、後続の学習内容の理解がしやすいように配慮されています。例えば生徒が小学校で扱った豆電球を利用して回路の学習をしてから電流と電圧の関係、電流と磁界の関係、最後に、電子、放射線について理解する流れとなっています。

啓林館では、学習内容をより深く理解できるよう、内容に関連する事柄を多く掲載し、日常生活、社会、他教科との関連に

触れやすく配慮されています。また、生徒が主体的に、科学的に探究することを意識した構成となっています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。

柴山委員 私は、啓林館の教科書に注目しました。観察と実験の目的、方法、結果、考察までの工程が一目でまとめて分かるように記載しており、子どもたちが実際に観察や実験をした際にスムーズに取り組むことができるのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方。

越委員 観点1の内容・構成、教科・種目別の観点からお話しさせていただきます。

啓林館、申し訳ありません、柴山委員と一緒に、「考えてみよう」、「ためしてみよう」、「なるほど」、そして「つながる学び」というコーナーが各単元で出てきます。「ためしてみよう」では、ほとんどの実験が身の回りや日常生活の中の身近にある材料で、やりたいと思ったら、すぐその場でできるものが多く、自らの力で知識を獲得し、理解を深められる工夫や配慮がされていると思いました。また、使用されている写真が美しくダイナミックなものが多く、見入ってしまいました。

そのほか教育出版の「中学理科」は、使用されているマークがとても分かりやすく、課題の解決に向けて話し合ったり、考えたり調べたりする場面がよいタイミングで出てきて、より深く興味や関心を持ち、生徒が学習できるようになっていると思いました。そして、ほかの教科で学習する内容との関連がある

ものには、その表示がしっかりされており、学ぶということのつながりや探究する力の育成が図られているところに配慮をされていると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいませんか。

山田委員 私からは、構成、表記、表現等の観点から述べさせていただきます。

東京書籍は、美しい自然科学に関する画像を多く掲載し、生徒の興味を高める工夫がされていると思います。国際単位系にも触れ、生徒が納得して学習できるように配慮されています。また、本文の説明が生徒にとって丁寧で理解しやすくなっています。例としては、先に日本の天気の特徴づける気団の性質を丁寧に記述した上で、移動性高気圧の発生場所が中国大陸の南部であることに触れて、春、秋の天気の特徴を考察しやすくなっています。

また、啓林館は、実験の手順や結果の整理の図や写真がカラーで大きく見やすくなっています。また、生徒が理解しにくい内容についての説明が丁寧です。例えば、力を記述する場合は、何が何に、どちらの向きに、どのくらいの大きさに加えられている力を記述することが重要であるということを知りやすく説明しています。

次に、対話的な学びを意識した構成という点から述べさせていただきます。

教育出版と大日本図書は、教科書の随所に生徒に考えさせるような吹き出しのイラストを入れたり、「話し合おう」という項目が設定されており、生徒が科学的に説明したり、生徒間で考えを交流したりする活動を進めやすく配慮されています。

最後に、使いやすさという観点で補足させていただきます。

学校図書は、全てのページの決まった場所に二次元コードが配置されており、いつでも簡単に関連する資料にアクセスできるように配慮されていて、とてもよいと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほか、藤内委員、お願いします。

藤内委員 私のほうからは、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連についてお話をしたいと思います。

藤沢の子どもたちは、科学少年団等で小学生から自然科学に親しんでいる生徒が多くいます。また、身近に海があり、箱根には火山、相模原にはJAXAがあるなど、科学的に探究する力を身につけることで、生徒はより主体的に学ぶことができる環境にいます。そのような藤沢の子どもたちにとって、科学的に学習することを意識して編修されている学校図書の教科書は適していると考えます。

以上です。

委員長 そのほかございますでしょうか。

平林委員 先ほども申し上げたとおり、全ての教科書が非常にすばらしくできているなど思うのですが、そのような中でも、探究の過程が分かりやすく配慮されていて、実験、観察の説明の図や写真が分かりやすい、また、山田委員が指摘されているように、重要な箇所の本文の説明がとても分かりやすく、発展的な内容も適切に掲載されている啓林館の教科書もまた、本市の生徒に適していると考えます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。よろしいでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、理科までの審議を終了といたしますが、1時間以上経過しておりますので、ここで10分間ほど休憩を取りたいと思います。事務局より、この後の動きについてご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、傍聴者の皆様にご連絡いたします。傍聴者の皆様は後ろの扉から出たところにあるお手洗いをご利用いただければと思います。3時になりましたら審議を再開いたしますので、再開の3分前の時間にはご着席いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、休憩といたします。

午後2時51分休憩

午後3時01分再開

委員長 それでは、ただいまより審議を再開したいと思います。

先ほど理科まで終了いたしましたので、音楽（一般）から審議を再開したいと思います。

では、音楽（一般）につきまして、ご意見がある方は挙手をお願いいたします。

大石委員 それでは、音楽（一般）について、私からは学習指導要領との関連という視点からお話しさせていただきます。

まず、音楽（一般）の教科用図書は2者なんですけれども、2者とも演奏や鑑賞、創作活動の場面で、他者と意見を交換し

ながら発表したり、それからグループで表現方法を考えたりするなどの課題を提示する作りとなっています。それにより、主体的で対話的な学習展開の下、思考力、判断力、表現力の育成が図られるよう工夫されています。

両者ともよく吟味されてつくられているなというふうに思うのですが、特に学習指導要領の内容に即した形で、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を身につけるのに効果的に活用できるのは、教育芸術社だと思います。

学習の狙いや共通事項との関わり、それから、教材で考えさせたいポイントなどの説明がとても丁寧になされています。さらに、具体的な例示も多く、音楽科で育成する資質・能力が確実に養われる授業づくりに有効であると考えます。教材によっては、主体的・協働的に音楽のよさを味わう学習展開が図られるような「学びのコンパス」というワークシートのようなものも提示されており、段階的に学習できる作りになっていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はお願いいたします。

梶委員 私は、観点2についてお願いします。

両者とも、歌詞などの文字が読みやすいユニバーサルデザインに配慮された紙面になっていると思います。

特に教育芸術社なんですけれども、親しみやすいキャラクターが音楽活動を楽しむ様子が描かれ、生徒の関心を引く工夫がされていると思いました。

また、教育出版ですが、歌唱、鑑賞、創作教材のカテゴリーにそれぞれ基調となる配色があり、歌唱教材の風景写真などが美しく配され、曲の抒情を豊かに想像させると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

宮崎委員 私からは、観点3の本市の生徒の実態や地域との関わりという観点からお話をいたします。

教育芸術社ですけれども、音楽をより深く学びたいという生徒の学びに対応できるように、豊富な情報量と詳細な説明が掲載されていると思えました。1年生の「浜辺の歌」ですけれども、調査資料にもありますけれども、作詞者のゆかりの地である辻堂海岸の風景写真に江の島も写っておりまして、目を引きます。生徒が歌を通して本市の美しい自然に対する思いというものを高めることができるのではないかと思います。また、先ほど大石委員の発言にもありましたけれども、「学びのコンパス」を活用しながら、1年生の段階で、本市に関わりの深い楽曲を学び、それを通して音楽に対する感性、音楽に親しむ態度を育むことができる構成は大変効果的だと思えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見がないようですので、次の音楽（器楽合奏）に移りたいと思います。音楽（器楽合奏）につきましてご意見がある方はお願いいたします。

大石委員 まず、観点1について注目して、感じたことを述べたいと思います。

両者とも、生徒が主体的に取り組み、学びを深めていけるよ

う工夫されていると思います。また、どちらも専門家のアドバイスを生かしながら、様々な楽器に触れる機会を提供しています。

教育出版ですけれども、ギターについては奏法に合わせて練習曲がありまして、生徒がスムーズに取り組めるようになっています。また、太鼓については打ち方と構え方の説明が詳しくされておりまして、図も多いので、とても分かりやすくなっています。

教育芸術社につきましては、演奏についての説明が丁寧で、写真が大きくて分かりやすくなっています。それぞれの楽器につきまして詳しい奏法の動画もついていますので、生徒が無理なく取り組めると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

佐々木委員 それでは、私は2つ目の観点の表記や表現についてお話ししたいと思います。

両者とも、構成については、各楽器のページで基礎的なことを学習して、巻末の楽曲において難度が上がるものに取り組めるというようになっています。学習を積み重ねながら、技能を習得できるように工夫されていると思います。

そして、教育芸術社については、五線の太さや音符の大きさ、それから段やページの区切りが見やすいなというふうに感じました。また、ギターのダイヤグラムの表記が奏者側からの視点となっていて、子どもたちにとって分かりやすいなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いい

たします。

梶委員 では、観点3についてお願いします。

教育出版と教育芸術社、どちらも本市の生徒の発達段階に合わせて演奏できるよう工夫が多々見られます。

特に教育芸術社は、様々なジャンルの音楽を取り入れており、クラシックだけでなく、幼少時に耳にするような楽曲や現代のゲーム音楽など、親しみやすい曲が多く、生徒が演奏練習に主体的に取り組めるのではないかと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて、次の美術に移りたいと思います。美術につきまして、何かご意見がある方はお願いいたします。

澤野委員 美術は3者ございます。3者とも自分の生活や社会生活の中で造形的な見方や考え方を働かせて、美しいと感じるものに触れ、美術文化と豊かに関わる資質や能力を含むことを目指した題材を取り扱っています。

光村図書は、題材ごとに鑑賞、表現の順に構成されています。「みんなの工夫」という項目があり、自分ならどのように表現するだろうと生徒たちに主体的に考えさせる工夫が見られます。また、説明がない作品を大きく取り上げて、生徒自身が感じる印象やイメージを持たせた後に、鑑賞ページを設けて、作品についての解説を掲載しています。造形的なよさや美しさ、

表現の意図と工夫などについて、生徒が自分で考える力を育める、そのような構成になっています。また、資料集が別冊になっていて、作品を作るための技法や、色や素材についての解説があるほか、発想や構想を練るための方法も示されています。生徒の表現したいという気持ちを形にするために必要な知識や技能が1冊にまとまっているのがよいなというふうに感じました。

開隆堂の鑑賞のページも、初めに作家の作品、次に生徒の作品を紹介し、最後に解説や制作過程の説明がレイアウトされています。鑑賞して、自分の作品のイメージを持ち、具体的な制作手順を理解しながら、学習を進められるように工夫されています。

日本文教出版は、生徒自身の身近な生活や社会と関連づけて学べる題材が多く掲載されています。デザインや工芸の分野では、使う人の立場に立った分かりやすいロゴやマークを制作したり、そのマークを使って日本手拭いを作ったりするなど、生活の中で、ロゴやマークが様々な形で利用されていることが分かりやすく紹介されています。暮らしやまちづくりをテーマにした單元では、よりよいデザインや工夫について意見を出し合い、協力しながら、暮らしを創造するプロセスを学べるようになっていきます。自分たちが未来をデザインするんだという意識を持たせやすいのではないかと思います。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

越委員 3者ともに、表現と鑑賞の領域が明確に分かれていて、大変よいと思いました。また、学習の目標として、身につけたい3つの目標である知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習

に取り組む態度が單元ごとに分かりやすく記載してあります。

特に、日本文教出版の教科書は、「表現のヒント」が丁寧に記してあるため、鑑賞の後にスムーズに表現に入ることができます。鑑賞の題材に自分らしい思いや考えを持つための工夫がなされていると思いました。そして、写真やイラストが大変大きく見やすかったです。

また、光村図書は、他教科とのつながりや共通事項の学習内容を関連させ、分かりやすく説明してあるので、工夫と配慮を感じ、よかったです。

以上となります。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いします。

山田委員 私は、観点2の構成、表記、表現等の観点から述べさせていただきます。

光村図書は、日本画について、質感の違う紙を使用して16ページにわたり掲載し、特に浮世絵の「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」は、原寸大でその魅力を余すところなく伝えています。また、美術1、美術2・3と別冊資料の3冊で構成され、別冊資料は、生徒の学習を助けるものとなっています。

また、日本文教出版も1、2・3上、2・3下の3冊で構成されています。3冊に分けることで、1冊当たりの重量が軽く、持ち運びがしやすい作りとなっています。また、絵画の一部を原寸大で表示することで、タッチや色使いを実感できる工夫がされています。

最後に、開隆堂ですけれども、美術1、美術2・3の2冊で構成されています。作品の質感を感じ取れる表紙の作りが大変すばらしく、思わず手に取ってみたいくなる装丁となっています。日本文教出版と同様、絵画の一部を原寸大で表示しており、折

り込みページも効果的に使われています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

窪島委員 自分は3番目の観点、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連に関連した発言をさせていただきたいと思います。

3者とも、教科書には二次元コンテンツが用意されていて、デジタルコンテンツを使うことができるというような作りです。

開隆堂は内容ごとに二次元コンテンツが配置されて、生徒作品やダウンロードができるワークシートなどが用意されていました。

日本文教出版は、「学びのはじめに」を全ての題材に配置しています。

それから、光村図書は、「全国の生徒の作品を見てみよう」のほかに、「体感ミュージアム」のコーナーには、作品に書き込んで鑑賞できる書き込みツール、あるいは解説動画、「鑑賞を広げる言葉集」など、子どもたちの興味関心を高めたり、学習を深める工夫が見られました。さっき私は地理のところでも発言しましたけれども、生徒一人一人がパソコンを利用している本市においては、特にこれは有効なものではないのかなというふうに感じました。

それから、神奈川県や本市との関連で見た場合、これは市の調査資料や県のほうの資料にも載っていますけれども、どの者においても、神奈川県や本市にゆかりの芸術家の作品を取り扱っているなというふうに思います。また、神奈川県の風景が作品になっていたり、あるいは県内の美術館に所蔵、もしくは展示されているような作品を掲載していて、興味深いなというふうに思いました。

具体的には、開隆堂には藤沢ゆかりの岸田劉生、あるいは片岡球子といった作品が紹介されていましたし、光村図書には、サプレーのパッケージが載っていたり、また日本文教出版にも、岸田劉生の作品や鎌倉の東慶寺の仏像などが紹介されているというふうになっています。「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」、これはどの者の教科書にも取り上げられていますけれども、今し方、山田委員もおっしゃっていましたが、光村図書と日本文教出版はほぼ原寸大の大きさであるということと、特に光村図書は「神奈川沖浪裏」だけではなくて、歴史的な日本の絵画についても、非常に紙質が風合いのあるものを使っているというところで印象深く、とてもよかったかなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。それ以外で何かご意見ある方はお願いいたします。付け足しでも構いません。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見ないようですので、続いて、次の保健体育に移ります。保健体育についてご意見のある方はお願いいたします。

山田委員 保健体育は4者ございます。4者ともに、主体的・対話的で深い学びを進められるよう工夫されています。学習指導要領に示された心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するという目標に資する内容となっています。

 続けて、私は観点1について、大修館書店と大日本図書について述べたいと思います。

 大修館書店では、「課題をつかむ」で生徒の興味関心を引きつ

け、本文、資料で知識を身につけ、理解を深める。「学習のまとめ」で学習内容を振り返り、日常に生かすという流れで、生徒にとって取り組みやすく、授業者にとっては教えやすい作りとなっています。また、二次元コードからクイズに挑戦したり、重要なキーワードを頼りに、生徒自身が深く考える場面を設定できるようになっています。内容としましては、心の健康を重視して、リラクセーションの方法を実習するページを設けるなど、今日的な課題を取り上げています。

大日本図書では、「学習のねらい」を初めに示し、本文を片側1ページに収めることで、授業の目的を明確にして、授業者の様々な工夫によって授業が展開できるようつくられています。内容としましては、現代的な諸課題を重視して、オリンピック・パラリンピック教育、防災教育などが充実しています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

佐々木委員 今と同じく、引き続き、1つ目の観点について、東京書籍についてなんですけれども、ナビゲートキャラクターが生徒を学習へと導いて、「見つける」、「課題の解決」、「活用する」という流れの中で、主体的に学習を進められるような作りになっています。また、それぞれの場面に設定された問いがすばらしく、生徒が思考力を働かせて、協働的な学びから知識の定着を図れる構成となっています。内容としては、多様性を認め合う共生社会の実現や、命の大切さを重視して、性の多様性や犯罪被害の防止などが充実しているなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ほかにある方はお願いします。

繁里委員 私は、G a k k e n についてお話をします。

導入にあります「ウォームアップ」による課題が適切であって、本文中の吹き出しに書かれた問いと「学びを生かす」という話合いや調べ学習などを通し、主体的な学習につながる構成になっております。内容も、健康や医療について、ウェルビーイングの視点を取り入れ、心の健康では、いじめについて取り上げているところが印象的でした。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

佐々木委員 それでは、2つ目の観点の構成、表記、表現等の部分からお話をしたいと思います。

4者とも、口絵または巻頭に、この教科書の使い方というものを紹介しています。また、ユニバーサルフォントによって、見やすく活用しやすい構成になっているかなと感じます。

その中で、東京書籍については、二次元コードによるデジタルコンテンツや巻末資料が充実していて、振り返りや発展的な学習に生かせる内容となっているかなと思います。

大日本図書については、右側ページに本文がなく、表や写真、イラストが充実しています。左ページの本文を隠してから、資料から考察や推測する活動につなげられるような作りになっているかなと感じます。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

繁里委員 引き続き、観点②の大修館書店について述べたいと思います。

大修館書店は、本文の文字数が少なく、写真とイラストのバランス、配置がよくて、グラフや表の配色にも工夫が見られました。生徒にとって非常に見やすい作りだと感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

山田委員 同じく第2の観点の部分で、私はG a k k e nについて述べたいと思います。

G a k k e nは、イラストに吹き出しを入れるなど、漫画のような作りになっておりまして、生徒が親しみやすい工夫がされているというふうに思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 次に、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連の観点から、大修館とG a k k e nについて述べていきたいと思います。

大修館では、小田原市の津波避難所・場所の標識や藤沢市のポッチャ体験などが取り上げられ、生徒が身近に感じられるとともに、ほとんどのページに二次元コードがあり、1人1台端末に対応した本市の生徒に適していると思いました。

G a k k e nでは、生徒が自分事と捉えて学習に取り組める資料として、神奈川県の中学校でA E Dを使用し、部活動の顧問を救った話が掲載されているのが印象的でした。

以上です。

委員長 ほかにご意見のある方はお願いいたします。

山田委員 私も本市の生徒にとってというところで、東京書籍も二次元

コードが充実しておりますして、1人1台端末のICTを活用した本市の生徒の学習に適していると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

佐々木委員 同じく3つ目の観点についてなんですけれども、大日本図書のほうには、藤沢市の緊急通報装置ですとか横須賀市のコミュニティ道路など、身近に感じられるものを取り上げられています。また、そのことによって関心を持って学習できるのではないかと感じました。

以上です。

委員長 そのほかご意見ある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、続きまして、技術に移りたいと思います。技術についてご意見がある方は挙手をお願いいたします。

繁里委員 私のほうからは、観点1について話をしたいと思います。

中学生になって、技術というのは初めて学習する教科でありまして、子どもたちにとっては、何を学習するのか興味がある反面、不安に思っている要素だと思います。ですので、そのような状況で、巻頭のガイダンスが重要であると思い、ガイダンスの特徴について触れたいと思います。

自分のほうからは、東京書籍について触れます。

まず表紙は、「未来を創るTechnology」という標語で始まり、「一人一人の明るい未来を創る架け橋になりますように」とい

う編集者の願いがあり、ガイダンスの中では、「技術の見方・考え方」のページで、最適化の視点について丁寧に触れていることが特徴だと感じました。今後、技術による問題解決の際に重要な視点であり、最初に学ぶ意義は高いと思っています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

越委員 観点1の内容と構成についてお話しさせていただきます。

東京書籍と開隆堂出版は、ともに冒頭でSDGsとテクノロジーを組み合わせ、SDGsが掲げる17の目標を達成するにはテクノロジー、いわゆる技術の力が欠かせないということに触れ、すてきな未来を実現させるにはということで、技術の学習へと導いています。

一方、繁里委員も先ほど発言されていましたが、教育図書では、小学校で学んできた算数、理科、社会、図画工作などと技術は密接に関わっているということを写真で分かりやすく表示し、技術という教科は新しいものではなく、小学校で学んできたことをさらに広げていきましょうということを伝え、生徒に安心感を与えてくれ、自分たちの未来のために技術を学ぶということを示しているところが大変よいと思いました。また、教科書がAからD編で構成されており、編ごとに簡単な題材をつくり、物づくりの基礎が流れるようになっています。そして、編の中が1から3、または4章に分かれていて、章ごとに振り返りやまとめがあるので、途中で分からなくなることなく、安定した学びができると思いました。また、「スキルアシスト」という基礎技能をさらに分かりやすく説明されている冊子もついており、二次元コードから動画を見ることができます。学習指導要領において示された資質・能力の3つの柱の一つである

生きて働く知識・技能を習得するための工夫や配慮がされており、非常によいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございました。そのほかご意見がある方はお願いします。

山田委員 私も第1観点のところで、教育図書について述べたいと思います。

教育図書では、「技術の力でだれもが暮らしやすい社会を創る」というSDGsや、共生の視点が色濃くあり、身近な悩みを取り上げ、自分でもできると思えるような工夫例を示している点が印象に残りました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

小澤委員 私も観点1で、開隆堂についてお話をさせていただきます。

開隆堂は、子どもたちが初めてこの教科書を手にとったとき、表紙の「テクノロジーに希望をのせて」から始まり、「私たち人間はすてきな未来を夢見て努力を重ねてきました。ドラえものの秘密の道具を手にする日が来るかもしれませぬね」というセリフを読みながら、わくわくしている子どもたちの笑顔が目に浮かぶなと思いました。

それから、続いて、観点2のほうもお話をさせていただくと、3者とも大きな差はなく、適切な文字サイズ、適度に配置された図や写真、イラストによって、生徒が読みやすく、理解しやすい配慮がなされていました。また現在、学校では1人1台端末を活用した授業実践、個別最適の学びが重要視されていて、予習や授業中、復習など様々な場面で使用できるQRコンテン

ツは必要不可欠なツールで、3者とも充実しているなど感じました。

その中で、教育図書では、全ての二次元コードの横にコンテンツの内容が表示されていて、調べたい内容が分かりやすい表記になってました。工夫されていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

繁里委員 開隆堂の二次元コンテンツは、動きがあったほうが理解しやすい制作の手順、作業の手順に関する動画がすごく充実していたという印象です。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかございますか。

山田委員 私も観点2の部分で、東京書籍については、全ページに二次元コードが配置されておりまして、学習した内容を補足するワークシート、図鑑や動画など多彩なコンテンツが用意している点が非常に優れているなというふうに思いました。

以上です。

委員長 ほかにご意見がある方はお願いします。

山田委員 私からは、また第3観点のところから注目して見ました。私は、生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決を養う学習過程の視点からお話をしたいと思います。

開隆堂では、各章の導入部に、学習の流れ、小学校や他教科とのつながりが表記されており、生徒が今までの学習を基にこれから学んでいくことが分かりやすくなっている構成になって

います。また、他者に比べて、漫画やイラストを減らして、図を多く使用することで、生徒自身が必要な情報を取捨選択して、主体的に学習できるよう工夫されています。また、インタビューの中では、仕事の意義や楽しさなど、キャリア教育の視点にも触れておりまして、生徒が将来に向けて興味が持てるように工夫されています。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いいたします。

繁里委員 私のほうからも、内容についていきます。

教育図書は、「見つける」、「学ぶ」、「ふり返る」の学習の3ステップが明確で、生徒が主体的に学習できるように工夫されており、問題解決ページでは、漫画を使って4つのステップで分かりやすく説明されています。また、「先輩に聞いてみよう」、「技ビト」などのコラムが充実していて、地元神奈川県厚木市の養豚農家の食へのこだわりや思いも掲載され、技術の果たす役割をより明確にすることで、生徒の学習の意欲の向上につながると考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いいたします。

小澤委員 私は、東京書籍についてお話しさせていただきます。

東京書籍の中に、「サステナブルなものづくりに挑戦しよう」、それから「地域の特産物を未来につなげよう」、それから「ウェルビーイングを高めるための問題解決」、「地域の安全安心を守ろう」など、現在の課題にスポットを当てた見出しを工夫して

いました。また、編末にある資料「すごいぞ！技術」とか「技術の匠」で、今までの技術分野の学習と現在の技術、将来の勤労観をつなげるということで、さらに学習意欲を高める配慮がされていました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、意見はないようですので、次の家庭に移りたいと思います。家庭についてご意見がある方はお願いいたします。

藤内委員 家庭のほうは3者ありますけれども、いずれも実践的、体験的な活動が取り入れられており、生徒が主体的に課題を解決していく力が身につくような学習内容となっています。

導入のガイダンスでは、小学校とのつながりや中学校3年間の学習内容について見通しが持てるような作りになっております。その中でも、特に私は、東京書籍のガイダンスが丁寧に取り扱われていることに注目しました。小学校で学習した内容を各編の導入で示すなど、小学校との系統性を大切にしていると感じました。また、生活の営みに係る見方・考え方について、分かりやすく例示し、生徒が自らの問題発見につなげられるような構成になっています。さらに、「自分の生活チェック」では、「1年生の最初」と「学習後」とのチェックを並べて比較できるようにしており、学んだことによる自分自身の成長を実感できるような工夫がされていると思いました。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いい

たします。

柴山委員 どの教科書も画像やイラストがたくさん使われており、実技をする上でとても分かりやすくなっているなど感じました。

その中で、教育図書さんの教科書が問題提起やヒントなどを2つのキャラクターでポイントごとにコメントを添えて描かれているところがとてもよかったなど感じました。これは技術のほうの教科書も同じように、同じキャラクターが描かれていました。全体的に構成がとても見やすくまとまっているなど感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見があればお願いします。

山下委員 私は、観点1の内容についてお話しさせていただきたいと思います。

災害対策なんですけど、3者とも災害対策について丁寧に取り上げているんですけども、中でも開隆堂は、「わたしたちの防災～防災があたりまえの生活に～」として、8ページにわたって掲載し、丁寧に取り扱っています。過去の災害から学び、今の生活を見直し、改善していくことができるよう工夫されていることを感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見があればお願いいたします。

小澤委員 私は単元構成についてお話をさせていただきます。

東京書籍なんですけれども、食生活を先に取り上げているこ

とに注目しました。最初のガイダンスで3年間の見通しを丁寧に取り扱った上で、生徒たちが興味を持って主体的に実習に取り組めるであろう食生活から入って、最後に家族や地域の学習となっています。中学校3年間の最後で、幼児や高齢者をはじめ多様な人々との関わりを学んで、共生の大切さを感じるよう工夫がされていました。卒業後に地域社会の中で自分が担う役割について考えることにつながると思いました。

以上です。

委員長 そのほかご意見がある方はお願いいたします。

藤内委員 ほかの教科でもあったのですけれども、3者ともデジタルコンテンツがとても充実しているなど感じました。調理や裁縫の二次元コードはどれも分かりやすい動画で説明がされており、何度でも見ることができます。本市の生徒たちは学校で日常的にタブレットを活用していますが、生徒たちが自分のペースで繰り返し動画を見て確認することで、基礎的、基本的な知識、技能の習得につながると感じます。

特に東京書籍はどのページにも同じ場所に二次元コードがついており、活用しやすい作りになっていると感じました。また、思考ツールを活用したコンテンツもあり、自分の考えを整理したり、グループ内の意見を交換することで、深い学びにつながる工夫もされていると考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見があればお願いいたします。

山下委員 それでは、私は、次は観点3、本市の生徒の実態や地域等の特性との関連についてお話ししたいと思います。

私は、これからの中学生にとって、消費について考えることはとても重要だと思っております。タップしてしまうだけで商品の購入が簡単にできてしまう、そんな時代です。本市では、中学生の大多数がスマホを持ち、インターネットに簡単につながる環境にあります。その利便性ととも、危険性や対策を考え、知ることの意義は大きいと考えております。

その点において、教育図書は多くの情報が掲載されておりまして、広告を見て購入する場合の注意点、また、話し合うワークシートなど、考える工夫がされていると思いました。

また、東京書籍では、契約や消費者トラブル、また消費の権利と責任、消費者の権利と責任の学習において、生徒が自分事として捉えられるよう、中学生によくあるトラブルの具体的な例を取り上げています。自分たちが悪質な商法のターゲットとなってしまうおそれであったり、また巻き込まれてしまう、そういう事案について、実感を伴って学習できるように工夫されていると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようですので、続いて、英語に移りたいと思います。英語につきましてご意見があればお願いいたします。

山下委員 まず、観点1のところからお話させていただきたいと思えます。

 どの者におきまして、学習指導要領にある全ての点において十分に吟味され、つくられているのが伝わってまいりました。

主体的に学習を進めることができるよう配慮され、題材や方法に工夫が見られました。また登場人物の多様性、国際理解はもちろんのことなのですが、内容にも、人権や防災、環境や社会問題、他者との協働など、様々な今日的課題を取り上げていて、どの者のものもそれぞれのよさがあり、どの教科書を使っても、子どもたちの豊かな学びにつながると思いました。

その中でも、光村図書の「Here We Go!」の内容は、子どもたちの日常の状況設定から平易で自然な英語表現を用いて社会問題などの内容に切り込みながら、目標に迫ることができており、とてもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方。

越委員 観点1の構成からお話をさせていただきます。

6者ともに、1年生の教科書の冒頭に小学校で学んだ自己紹介や、自分の好きなものや憧れの人の紹介をしたり、また自分や友達の名前を書いたり、小学校からの学習の関連づけた構成となっています。

現在、藤沢市で使用されている三省堂の「NEW CROWN」と光村図書の「Here We Go!」は構成がよく似ていました。出てくる単語がページの両サイドにまとめられていて、ページの下には、聞く、読む、話す、書くがまとめられています。そして、1つの単元が2つから3つの構成になっていて、最後に長文が出てきます。この長文は、定期テスト対策に非常に役立つと思いました。また、定期テストに欠かせない文法が長文の後のページに出ていきます。この構成は非常に使いやすいと思いました。

開隆堂の「Sunshine」は、他社に比べると少し長文が少ないように感じましたが、その反面、途中途中に「英語早わかり」という文法を分かりやすくまとめたページがあります。これは

また、定期テスト対策にはとても有効だと思いました。また、一つ一つのページの配置バランスがよく、ページの中が散らかっておらず、見やすかったのが印象的です。小学校で学んだ単語がページの下にまとめられている点も、その都度振り返ることができて大変よいと思いました。

6者を共通して、日常生活や話題の出来事や人物、生徒の興味のある題材をうまく使用しており、意欲的、自主的に取り組めるような工夫を感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方。

大石委員 同じく観点1で、内容についてなんですけれども、どの者につきましても興味深い内容ばかりでしたが、三省堂の「NEW CROWN」は、英語圏以外にも様々な国を取り上げておりまして、中でも、私は環境について考えさせる「Warka Water Project」という題材については秀逸で、環境や科学に対する子どもたちの意識を高めることができる教材だと思いました。ほかにも、本市で車椅子バスケットの練習をしている鳥海連志選手の話もありまして、身近な題材として学習できると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

岡村委員 私は、教育出版さんがアニメや絵や写真がたくさんあって、字が大きくて見やすく、教科書のサイズも小さめでいいなと思いました。

光村図書さんはストーリーになっているので、最初に入りやすく、ストーリーを通して英語を学ぶことができるのがいい

なと思いました。1は絵が多く、2と3はしっかり文が多いので、学年に適して工夫されているんじゃないかなと思いました。後半に、各学年のための「英語の学び方ガイド」があって、分かりやすいなと思います。こちらも教科書のサイズが小さめでいいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見。

小澤委員 私は、編修の工夫という点からお話をさせていただきます。
東京書籍の「NEW HORIZON」では、文法解説動画やデジタル文法クイズなど、ICT教材を活用して、主体的に学習できるようになっています。また、「ダイバーシティメモ」というコラムから、その教材の背景や考え方が書かれていて、多様性に気づくように配慮されている、工夫されていると思いました。
以上です。

委員長 そのほかございませんでしょうか。

山下委員 続いて、観点の2番目、構成や分量についてお話したいと思います。

こちらも、どの発行者のスマールステップで問題に入っていく形が取られておりました、スムーズに学びが繋がっていくよう、工夫されています。また、目標が「CAN-Do」等を用いてイメージされていることで、ゴールが分かりやすくなっていると思います。また、現在使用している教科書も、どれもそうなのですが、二次元コードから音声の確認ができていたんですけれども、今回の教科用図書デジタル教材は、ほかの教科でもそうでしたが、内容を動画で確認できたり、また、音声だけではなくて、それ以外のものにも触れられるようになっております。

多彩な学び方ができるように工夫されています。

中でも、教育出版の「ONE WORLD」のデジタル教材は、読み方練習の際に、スラッシュが設定できたり、カラオケのように文字の色が変わっていったり、また、自分の声を録音して再生することでどんなふうに聞こえるのかというのを確認できたり、さらに、英文の内容を思考ツール、先ほどもお話に出てきましたけれども、自分の考え方をまとめられるような工夫がよいなと思いました。

また同様に、啓林館の「BLUE SKY」にも、ターゲット動画が大変分かりやすくできておりまして、理解が進みやすいと思いました。さらに、インプットとアウトプットが継続して学習できるように構成されているところもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

小澤委員 今、スモールステップというワードもありましたけれども、私は特に光村図書の「Here We Go!」、開隆堂の「Sunshine」は、学年が上がっても、豊富なイラストや漫画、グラフや表から意味を想像させた上で英文を聞いて、簡単な問いから目標文へとつなげていく構成が、英語の苦手な生徒にもとてもよいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方はお願いします。

大石委員 同じく観点2の分量や表記に関してなんですけれども、三省堂の「NEW CROWN」は、内容が簡潔ですっきりしている印象です。

そのため、教員の裁量でできる部分も多いんじゃないかなというふうに思いました。三省堂は現在使用中の教科用図書になりますが、現場の先生からの評判もいいようです。まとめの3こま漫画も読んでみたくなる内容で、興味深く復習ができるようになっていきます。

続けて、本市の実態や地域の特性という観点からもちょっと申し上げたいと思います。

前回の学習指導要領の改訂で、話すことが発表するということと即興的なやり取りの2領域となりました。今までの聞く、話す、読む、書くだけではなくて、話すということにおきましては、発表して話すということと、即興でやり取りして話すという領域が分けられたということになります。英語教育においては、本市だけではないんですけれども、日本人の多くが即興でやり取りする難しさというのを感じています。

光村図書の「Here We Go!」では、各見開きに「Let's Chat」というコーナーがありまして、英語教育で今求められています即興で話すという力を育めるように工夫されています。また、帯教材として、「その場でスピーキング Let's Talk」という付録がありまして、それは教員にとっても使いやすい教材となっていると思います。

同様に、開隆堂の「Sunshine」でも、各プログラムに「Small Talk」のコーナーがありまして、繰り返し行っていくことで、即興でのやり取りや表現する力が身につく工夫がされています。

さらに、この2者においてはRetellingといたしまして、言い換える手法を用いてアウトプットする力に重点を置いており、英語力をつける上で大きな強みになると思いました。

以上です。

委員長

ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いい

たします。

山下委員 先ほど三省堂がすっきりしているというようにお話もありましたけれども、配列や構成がパターン化されておりまして、見通しを立てて学ぶことができるのかなというふうに思っております。また、その中でも、今、即興的なやり取りというお話がありましたけれども、各単元のPart3に「Small Talk Plus」というコーナーがあります。そこでは、この単元で学んだことを即興で話せるように「Tips!」というヒントコーナーがあることで、即興で話すことが苦手な生徒にとって一助になるのかなというふうに思います。また、先ほどのお話にもありましたが、本市で車椅子バスケットボールの練習をされている鳥海選手の話があるのも、子どもたちの興味を引くのではないかなと思っております。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、ご意見ないようですので、続いて、道徳に移りたいと思います。道徳につきましてご意見がある方はお願いいたします。

澤野委員 道徳の授業では、生徒が自分自身を見つめ、よりよい生き方を考えることが大切です。ふだんの自分の考えや言動について振り返り、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方を考え、議論する道徳につながるように、各者とも工夫されています。

東京書籍は、教材について深く考え、グループでの話し合いを繰り返すことで、考え、議論する道徳の授業づくりがスムーズに行われるような構成となっています。例えば、各教材につぶやき欄があり、思ったことや感じたことを記入することで自分の考えを整理し、話し合いを円滑に進めやすいような構成になっています。また、巻末の心情円は、葛藤する教材、モラルジレンマ教材を扱う授業の際に、可視化することで自分の心情をより見つめ、考えを整理することにつながります。さらに友達の心情理解にもつながり、活発な話し合いを行うことができるように工夫されています。また、教材文の一場面を役割演技する学習もあり、自分事として捉えられるような工夫もよいと思います。

教育出版は、現代社会における課題、命の尊さやキャリア教育、社会参画等について、テーマ別に分類され、考えたり、話し合ったりする活動を通して課題に向き合い、解決する力を育む構成となっています。巻末の内容項目別教材一覧表に、教材に関連する他教科領域が示されており、カリキュラムマネジメントに対応しやすいのもよいと思います。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いします。

柴山委員 どの教科書も似たような題材が多い中、光村図書が「差別の根底にあるものは？ コロナと差別、『病気より大衆が怖い』元ハンセン病患者が語る」というタイトルで、元ハンセン病患者の方の経験と、今の社会で起きているコロナの差別や偏見について書いてあります。この内容なんですけれども、私たちみんな当事者であり、それこそ3年間、みんな子どもたちもいろいろ考えたり、感じたこともたくさんあったのではないかと思います。それを題材にして考え、意見を交わすということは、

とてもいいことだなと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

越委員 観点1からお話をさせていただきます。

道徳的な課題を生徒が自分との関わりの中でどう結びつけられるかという点で、光村図書と日本文教出版の教科書は、1冊の中の写真やイラストの雰囲気やページの構成がとてもうまく、読む側を飽きさせず、次のページをめくりたくなるような教科書になっておりました。

また、光村図書は、ポイント、ポイントに「考えよう」というコーナーがあり、主体的に考え、自分の考えや感じ方を明確にすることができるよう、考える道徳につながる内容構成になっていると思いました。

そして、日本文教出版は、「道徳ノート」というのが附属しており、まずは自分の考えや友達の意見や話合いの内容をメモできるようにになっています。次に、「自分に+1」として、みんなと議論を深める中で生まれた新たな考えや、これから大切にしたいことや自分の生き方にプラスしたいことをまとめることができるようになっていきます。物事を多面的、多角的に考えるために、多様な考え方や感じ方と出会い交流をする議論する道徳につながる内容構成になっていると思います、深い学びができるなというふうに感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

山田委員　　私は、観点1の学習指導要領の関連ということを目して見ますと、どの発行者も対話や体験から学べるよう工夫がありますが、私は、中でも光村図書が生徒にとって学びやすいよう編修が工夫されていると感じました。柴山委員のご指摘にもございましたように、人権についてのユニットを別に設けており、人権に焦点を当てて、知識と考えを学びながら深められ、生徒が社会でよりよく生きるためにアンテナを高められるようにしている点や、また、「やってみよう」のページ、「チャレンジ」パートのページを設けていて、友人との対話、議論を通して、体験的に主体的・対話的で深い学びがなされるよう工夫されています。

　　以上です。

委員長　　そのほか何かご意見ある方。

梶委員　　私からも観点1について、2者申し上げます。

　　日本文教出版ですが、いじめや環境など現代的諸課題の内容教材が充実しており、生徒が考え、議論する道徳が実現しやすいと思いました。また、著名人によるメッセージがほどよく配されており、生徒が前向きに自身の生き方を考えられる内容であると感じました。

　　そして、G a k k e nの教科書ですが、巻末の「学びのメモ」と「学びの記録」が適切な量感で配されており、「学びのメモ」は授業ごと、「学びの記録」は学期末ごとに、生徒が学びを振り返ることができるように工夫されていると感じました。

　　以上です。

委員長　　ありがとうございます。そのほかございますでしょうか。

平林委員　　私からは、観点2の構成、表記、表現の観点から述べさせて

いただきます。

あかつき教育図書は、フォント、色使い等のユニバーサルデザインの観点から配慮がなされています。また、二次元コードを利用して、人物の紹介、インタビュー動画等、教材に関連する動画や、ウェブリンクを参照することができるように工夫されていると感じました。

以上です。

委員長 そのほかご意見のある方はお願いします。

梶委員 私も観点2について1者申し上げます。

東京書籍については、各教材が見開き2ページ程度にまとめられていますが、本の形が変型になっています。手で押さえなくても教科書を広げたままで学習することができる、話もしやすいと思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はお願いいたします。

山田委員 私は、分量・装丁・表記等の観点から、光村図書は、文字が読みやすくなるよう、余白や文字数が配列されていると思いました。また、挿絵、写真、イラストが生徒にも親しみやすく、配色も見やすくなっているというふうに感じました。教科書の初めに、「道徳で学ぶ22のキーワード」をイラストつきで掲載していて、1年間で何を学ぶのかを示していて、続いて、「道徳道案内」では、学んでいく題材のつながり、学習の見通しを視覚的に持てるようになっていきます。あわせて、教科書の巻末には「まなびの記録」がついていて、年間の道徳の授業を通して、自ら心に残ったことを振り返ることができ、考えを整理し、よ

り深く考える機会が持てると感じました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見ある方。

澤野委員 ここで、本市の生徒の特性との関連について述べさせていただきます。

日本教科書は、自分の考えを伝えたり、相手の考えを理解しやすくするために、「ウェルビーイングカード」を利用できるようにするなど、生徒同士の対話を重視する工夫が見られます。コロナ禍で友達との関わりがなかなか持てずにいた生徒たちが、互いを理解し、尊重しながら、人間関係を深めていく態度を育むことにつながるのではないかと思います。

また、東京書籍では、各学年で防災安全についての教材を取り扱っています。海が近い藤沢市に住む中学生が自分事として捉えることができる身近な教材です。未来に生きる子どもたちの生きて働く道徳性を育むことにもつながるのではないかと考えました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見がある方。

山田委員 藤沢市では、人権啓発事業を推進しています。生徒たちが自分の周りにいる友達の人権を守る意識を持つことで、いじめの根本的な原因を取り除けるよう、各中学校においても努力をしているところです。その視点から見ると、私は光村図書がよいと思います。

先ほど申しあげましたように、人権のユニットを別に設けて、マイノリティーやLGBTQについても、中学生にも現代の問題として触れられているところがよいと思います。また、これ

から藤沢市で生活していく生徒たちに、人権を大切に作る社会をつくる意識づけにつながると思いました。

以上です。

委員長 ありがとうございます。そのほかご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

各委員 なし。

委員長 では、ないようなので、以上で本日予定された議題に関する審議は終了とさせていただきたいと思えます。全体を通して何か委員の方でご意見等あればお願いいたします。

各委員 なし。

委員長 では、特になしということですので、次回の審議委員会の日程等について確認したいと思えます。

 次回の審議委員会につきましては7月18日木曜日午後1時から、場所は本日と同じく藤沢市教育文化センター大会議室でと考えております。日程等については、それによろしいですか。

各委員 はい。

委員長 では、次回の議題につきましては、審議方針に基づきまして、「令和7年度使用特別支援学校及び小学校若しくは中学校の特別支援学級用教科用図書」の審議について、また、諮問に対して答申をする必要があることから、「令和7年度使用教科用図書に関する審議結果の答申について」の2点といたします。このことについて皆様からご意見、ご確認等何かございますでしょうか。

うか。

各委員 なし。

委員長 では、第3回の審議委員会につきましてもよろしくお願ひします。

事務局から何かから連絡等ございますか。大丈夫ですか。

では、特にないということでございますので、本日は長時間にわたる審議どうもありがとうございました。これをもちまして、第2回令和7年度使用藤沢市教科用図書採択審議委員会を閉会といたします。本日はありがとうございました。

この会議の結果の記載に相違ないことを、確認する。

署名委員